

## 市内民間就学前施設の聞き取り状況

別添 4

確認日：令和5年5月17日

聞き取り項目：①「読書環境」②「家読」に関する様子について

### さくらっこ保育園

- ・園では、読み聞かせに取り組んでいる。水・金は読み聞かせの人が来てくれるのと、それ以外は、園長や担任でやっている。
- ・家読をより浸透させるにはどうしたらよいか、どうやって家庭で絵本の時間を確保するのか、**保護者は毎日忙しい**。園での貸し出しをすることは、本の管理の面と保護者の時間的な面で、現実的には難しいと感じる。また、「読めるようなら自分で」という親の考えもある。
- ・本のプレゼントをして、本との出会いをつくっていくなどして、どの子にもいきわたるようにしていきたい。
- ・市から予算がついて本が購入できるのは大変ありがたい。市のリストから選ぶことになっているが、紙芝居や大型絵本があまりないので、そういったものも購入できるとうれしい。また本が増えると置く場所が必要になるが、いただいた予算で本棚も購入できるとありがたい。

### 近江兄弟社ひかり園

- ・子どもの心に残る本との出会いを親子で、先生で、大事にしていきたい。園では、季節ごとに絵本の入れ替えをしている。先生のおはこをつかって、どっぷり絵本の世界を楽しみえるようにしていきたいと考えている。
- ・福音館書店月刊誌「こどものとも」「かがくのとも」を購入している。これらの本には、毎月ねらいがあり、親へのメッセージや願いが込められている。
- ・コロナ禍以前は、お話をしたり、大型絵本や巻き絵を作成したりと、保護者主体の活動もあり、保護者向けの講座（交流の場）があった。復活させていきたい。
- ・絵本の楽しみ方というものは、園で楽しむ、1人で楽しむ、2人で楽しむ、家庭で楽しむ、いろいろである。
- ・保護者の絵本とのきっかけづくりは、「子どものために」では重すぎる。「コツはないよ」「読めえるタイミングでいいんです」「おかまいなく」「図書館はおもしろいところだよ」等、**園から発信していく**。
- ・本は買うと高い。まずはカードを作って本との出会いの扉を開けてもらいたい。
- ・「きっかけづくり」に関して、保育者や保護者は**ねらいを持ちすぎているのではないか、与えてしまいがちではないか、反省している**。純粋な本の世界でなくなってしまう。自分が読みたいと思えるものでいい。親も自分の好みに合ったものでいい。

## 市内民間就学前施設の聞き取り状況

別添 4

確認日：令和5年5月17日

聞き取り項目：①「読書環境」②「家読」に関する様子について

<p>八王子保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語のおもしろさを知ってほしいと願っている。</li> <li>・ 園から歩いて市立図書館へ行っている。</li> <li>・ 市の予算で本購入、大変ありがたい。市指定の本リストがあるが、大型絵本や紙芝居が購入できない。現場がほしいものを購入できるという。</li> <li>・ 本がたくさん増えると棚がいる。棚は購入でない。<b>環境づくりは大切。</b></li> <li>・ 園で以前はTVを視聴することもあったが、今はほとんどなく、<b>かなり読み聞かせをしている</b>。「家ではYouTubeばかり見るのですが…」と保護者から相談を受けることがあるが、園では長い時間ふれずに過ごしているし、心配ないのではと話している。</li> <li>・ <b>園で図書カードを作っていて</b>、クラス単位で「毎週〇曜日は貸し出しの日」と<b>絵本の貸し出し</b>をしている。「<b>自分で選んだ本</b>」は子どもにとってうれしいもの。<b>自分で選ぶことで自信になる</b>。本は何を選んでもいい。わくわく。おもしろかった！そんな経験を大事にしたい。</li> <li>・ 「読書感想文を書く」ということが大きな壁になっているのではないかと感じる。感想文を書くとすると、本を分析しながら読まないといけなくなる。</li> </ul>
<p>安土ののほな保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせを大切にしている。絵本との出会いを通して、豊かな心を育てていきたい。</li> <li>・ ボランティアさんにも協力を得ている。</li> <li>・ 図書購入に際して、市補助が助かっている。</li> </ul>
<p>ありす保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月に1回、はちっこブック号が来てくれること、ありがたい。子どもたち楽しみにしている。</li> <li>・ 本購入補助、助かっている。</li> <li>・ 本的には充実しているが、本を置く場所・スペース（<b>環境づくり</b>）が課題である。</li> <li>・ 園では全員に読み聞かせをしている。園での様子は、0、1、2歳児は「読んで読んで」と読み聞かせを楽しみにしている。4、5歳児になると自分達で読む子も増えてくる。自由あそびでは、友だちと遊ぶことも大好きな時期なので、本ばかりでもない。</li> <li>・ 各家庭で、絵本を買う、本をかりるということは、家庭により差は開いている。少ないのではないかと感じる。<b>親子にとって、タブレットが身近なものになっている。どう共生していくか</b>が課題である。</li> </ul>
<p>ひむれ保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園で毎日読み聞かせをしている。子どもの声で「家で読んでもらった」と話す子もいるが、あまり聞かない。親子ともに本離れの傾向は感じる。</li> <li>・ 家では「動画をみる」と言う傾向が強いのではないかと感じる。動画を見せながら、家で絵本を読むとなると、<b>時間を取らなければならない。働く保護者にとって難しい</b>と感じているのではないかと感じる。</li> </ul>

## 市内民間就学前施設の聞き取り状況

別添 4

確認日：令和5年5月17日

聞き取り項目：①「読書環境」②「家読」に関する様子について

### 北里保育園

- ・園に本はたくさんある。
- ・小中高と学校生活では、PC、タブレット等中心の生活をする、今の子どもたちが、果たして読書に興味を持てるか。
- ・「本離れ」は、親世代がタブレットスマホ世代だからではないか。
- ・今の子どもは、習い事があって忙しい。土日もない子も。
- ・近年、市として補助が急激に増えたが、リストから選ぶ方法も含めて、「本を買うだけでよいのか？」という思いはある。

### 京進のこどもえんHOPPA近江八幡

- ・絵本が自由に読める環境をつくっている。（絵本コーナー、移動型）
- ・4、5歳児に、はちっこブック号大好評である。自分が本をかりる楽しみ。興味をもつきっかけになっている。普段仕事があって図書館へ連れていけない親にとっても助かっている。親もとても喜んでる。是非とも継続してほしい。
- ・家庭において、短時部は家庭内でも時間がある傾向、長時部は絵本を読む時間が取りにくい。同じ園内でも、読書環境はさまざまである。
- ・園で貸出を行うには、難しい。人数が多い分、管理方法・整理方法が課題。市補助があるのは大変ありがたい。しかし市補助40万円いただく約束の中に、貸し出しをする条件があるが、園では負担がある。

### 白鷺保育園

- ・参観日に親子で本をかりる機会を設ける計画を立てている。
- ・「読み聞かせ」を、何かの時間待ちでやり過ごすのではなく、生活の一部として設定している。
- ・ラムの会の読み聞かせ（3、4、5歳児クラス）を実施している。コロナ関係で制限もあるが、1、2歳児も一緒に読み語りを聞くこともある。
- ・はちっこブック号は4、5歳児がお世話になっている。「選んだんだね」「おもしろいね」等子どもへの声かけを大事にしていきたい。たくさんの本の中から自分が選ぶ経験、とっておきの1冊を大事そうに抱える姿、それってとても大事だと思う。親にも子にも本に親しむ「種」がまけるといいなと思っている。小さい月齢の子は、お兄さんお姉さんが本をかりる姿が憧れ。その姿を見て、「私も！」と思っている。
- ・「家読」に関して、家庭での本に対する保護者の意識は、二極化していると感じる。園のお話の時間が始まると、子どもたちはとても喜ぶ。しかし家庭ではそうではないのかも。

確認日：令和5年5月17日

聞き取り項目：①「読書環境」②「家読」に関する様子について

<p>メリー保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年からはちっこブック号が始まる。どうなるかなと期待している。</li> <li>・園での貸し出しでは、絵本の自由貸し出しを行っている。園で子ども借りてきたし読んでみようかなというきっかけ作りにもなっている。お迎え時に借りて帰る親子もいる。コロナ禍前は、毎週金曜日週末に本を持って帰る取組ができていた。</li> <li>・以前は、申し込みをして、講談社の「読み聞かせ隊」に来てもらっていた。</li> <li>・市内のボランティアさんにも読み聞かせに来てもらっている。</li> <li>・保護者の意識の二極化については、いつの時代にもあるものだと思うが、メリー保育園でもその傾向はある。</li> <li>・気になっていることは、「読書力を育む」とは何か。幼少期は絵本に親しみ、小学校に入ると文章へ徐々に移行していく。すると、文字への抵抗感が増して苦手意識を持つ子は増えていくように感じる。<b>絵本との親しみが、学校の勉強と結びついていないのではないか。</b>感性的なものは育まれたのか？学力に結び付いているのか？このことについて長年疑問に感じている。</li> </ul>
<p>金田東保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事にしたいのは、情緒豊かな子どもを育てていくこと。新作と並行して、長年親しまれているにも出合わせていきたい。例えば「ぐりとぐら」…こんなおりょうりしてみたいね。「からすのパンやさん」…おもしろいね。大事にしていきたい。</li> <li>・絵本の貸し出しをずっと続けている。「親子で楽しいひとときを過ごすこと」を目的として、「えほんカード」の取組をされている。絵本カードには、日付、かりた本の題名、読んだ回数、保護者コメント（自由）、担任サインがある。1年間通して書き込みをしていく。</li> </ul>
<p>あおば乳児保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市補助がついて、ここ数年で絵本がぐっと増えたことで、身近になったと感じる。そしてはちっこブック号が来てくれることもありがたい。保育所でも読み聞かせをやっている。</li> <li>・一人一冊、毎月購入している。本とのきっかけづくりにしていきたい。</li> <li>・絵本コーナーを設けて、熱心に数日に1冊借りている親子もあれば、全く借りない親子もいる。読書環境は家庭により様々であると感じる。親の育った環境がベースになっている。どういう風を選んで、どう本と出会うか、工夫していきたい。</li> <li>・保護者は今、疲れている。無理のない範囲でやっていきたい。</li> </ul>

## 市内民間就学前施設の聞き取り状況

別添 4

確認日：令和5年5月17日

聞き取り項目：①「読書環境」②「家読」に関する様子について

### きはら遊こども園

- ・読書環境について、今大きな課題として感じることはない。
- ・絵本に囲まれての事業で、園の絵本が少なめだったので、絵本が増えたことが大変ありがたい。

### 紫雲こどもみらい園・紫雲保育園

- ・本についての市補助、十分してもらっている。移動図書館もしてもらっているし、いい環境がつけられている。
- ・読み聞かせを行っている。また絵本室の本入れ替えを定期的に行っている。
- ・子どもを取り巻く絵本環境の中に、「タブレット絵本」というものも定着しつつある。紙の絵本とタブレットの絵本と、どう扱うか。これから考えていかないといけないこと。